

東京都立調布北高等学校同窓会幹事会 幹事会議事録

日時 2005(H17)年9月23日(金) 13時 - 16時

場所 母校1F校長室

=出席者=(敬称略)「お疲れ様でした」

2 - 4 白川	4 - 5 大槻	6 - 6 栗原
3 - 3 青木	4 - 5 入来院	8 - 3 相原
3 - 3 元木(加藤)	4 - 3 生江(牧野)	9 - 1 中村
3 - 1 山本(朝倉)	5 - 6 安田(雅楽川)	17 - 6 山田
3 - 1 近藤	5 - 5 原子	17 - 6 内田(門間)
3 - 3 新津	5 - 2 高橋	17 - 6 門脇
3 - 6 高橋	5 - 3 津山	28 - 6 橋本
3 - 2 渡辺(小出)	5 - 6 小川	

=欠席者=(敬称略)「次回はよろしくお願いします」

1 - 5 和田	7 - 2 林(竹村)	14 - 5 堀内(間宮)
1 - 6 大野(田畑)	8 - 1 木原	16 - 6 大西
1 - 2 徳善	8 - 5 小柳	16 - 4 佐々木
1 - 2 斉藤	8 - 2 五十嵐(西川)	16 - 2 日暮(川端)
1 - 4 田辺(菅谷)	8 - 4 尾花(水本)	17 - 4 林
1 - 6 小泉	8 - 3 佐久間(藤井)	19 - 3 小林
2 - 4 宗(窪川)	8 - 2 有馬	23 - 5 野村(知子)
3 - 4 片岡	9 - 3 松原	23 - 2 野村(栄治)
3 - 1 小山(渡)	9 - 3 河西	23 - 4 遠藤
4 - 2 是澤	10 - 5 高橋	23 - 1 近藤
4 - 6 栗原(橋本)	10 - 2 畠山(高橋)	25 - 6 竹田
4 - 4 小林(押尾)	10 - 3 杉村	27 - 1 秋川
4 - 2 関本(馬場)	11 - 1 近藤	28 - 1 大場
5 - 5 堀田(有馬)	12 - 3 木村(上床)	28 - 3 村石
5 - 2 横尾(中尾)	13 - 1 鈴木(新山)	28 - 4 夏目
5 - 1 真田	13 - 5 東(竹内)	28 - 5 安芸
6 - 5 鈴木	13 - 3 山越	28 - 3 松崎
6 - 4 松田(斉藤)	13 - 4 牧田(高橋)	28 - 2 江村

(凡例) 2 - 4・・・2期生4組 ()は旧姓あるいは同姓のため名前

1. 報告事項

耐震工事に伴う夏季補習教室移動に関する資金拠出の件は、東京都の予算措置がなされたため、同窓会の負担は0円となった。

2. 検討事項

(1) ホームページ委員会

現状の報告があり、以下のとおり説明があった。

「学校 同窓会へのリンク」のお願い

これは、後日9期中村が学校側と調整することとする。

同窓会 学校のリンクの許可は必要ないのではという結論となり、現在実施中。

後述の全同窓生の名簿のWEB化の際のパスワードについての管理の問題

全同窓生に対し(6000以上)パスワードの発行をするのかとの意見に対し、名簿がきちんと揃って運用可能な段階で再度検討することとなった。当然のことながらパスワード等セキュリティ管理がされるまではWEB上での名簿の公開は保留する。

現状HP委員会委員長8期相原様のサーバーに間借りをしているので、金銭的な負担は生じていないが、独自ドメインまたパスワード管理等になると、将来的にはその支出が発生することとなる。

同窓会ホームページ内の各期のページでの幹事紹介に使用するため、その名前と既にHPがある場合には、URLをHP委員長に報告すること、またその後異動した事項についても同様に報告すること。

25日には更新をするので、ご覧ください。

(2) 35周年総会実行委員会

現状の報告があり、以下のとおり説明があった。

ホームページ立ち上げ後、本格的に始動する。

2008年度に開催決定。大まかな案（場所のピックアップ、凡その予算等）を次回幹事会で報告する。

(3) 名簿委員会の設置

全同窓生の名簿はあった方が良くとの結論に達し、それを所掌するため名簿委員会を設置した。

6期栗原様（委員長） 4期畠山様

各期幹事は、その期の名簿を電子データにより次回幹事会までに名簿委員長へ提出すること。

ただし、今回は紙でもよいので次回幹事会までに提出のこと。

<名簿について>

昨今の個人情報保護の流れによりその取り扱いには慎重を期すべきであるが、その流れにより学校からの情報の提供が難しいことを踏まえ、同窓会独自で同窓生のデータを保持する必要がある。

保持データの内容としては、卒業年、期、組、氏名（旧姓含む）、住所（〒含む）、連絡先、就職先等を考えている。これは、同窓会、幹事会、同期会、クラス会の開催案内等連絡事務用を使用するものとする。

しかし、名簿に掲載するデータは、卒業年、期、組、氏名（旧姓含む）を除き本人の希望によりその開示を制限または全てを開示することができる。今回のデータ収集にあたりその明示的な同意を取っておく必要があると思われる。また、名簿の記載例（案）は以下のとおり。

氏名	現住所	職業	連絡先	備考
甲野 太郎	東京都調布市	証券（営業）	0424-xx-xxxx	
乙野 二郎	神奈川県川崎市	流通（経理）	xxx@xxxx.ne.jp	
丙野 三郎	東京都千代田区	文学部（西洋史）	090-xxxx-xxxx	

個人情報収集についての説明まとめ及び記載例

		収集する情報	同窓生名簿に掲載する情報	掲載を選択できる情報
情報の用途		同窓会・幹事会・同期会の連絡事務用。 （開催案内等） 外部への公表はしない	右欄の指定が無い場合、この欄の情報で掲載。	名簿に掲載する・しない情報を選択 下記C)、D)及び、E)を選択しようとする場合には、名簿悪用の可能性等慎重に御判断ください。
A)	卒業年・期・組	年卒 期 組 例) S60年卒 9期 1組	(必須) 同左	(必須) 同左
B)	氏名(旧姓)	甲野 太郎 (旧姓)乙田	(必須) 同左	(必須) 同左
C)	住所(〒含む)	〒182-0011 東京都調布市深大寺北町 5-39-1	右欄の指定が無い場合、 【市区町村まで】 掲載します。	下からお選び下さい。 都道府県まで 不許可 全部掲載
D)	連絡先 (電話、メールアドレス、FAX等)	連絡用の一つは必須 0424-XX-XXXX XXX@XX.ne.jp等 090-XXXX-XXXX	右欄の指定が無い場合、 【空欄】 とします。	下からお選び下さい。 掲載したい番号等を指定 全部
E)	業種(職種)・専攻	流通業(経理) 文学部(西洋史)	右欄の指定が無い場合、 【左欄の情報】 を掲載します。	下からお選び下さい。 不許可 勤務先・進学先等の名称等を記入

(4) 役員改選・分掌

今回以下の提案がなされたので、各自持ち帰って検討する。特に案がなければ、次回は必ず下記の要領で決定する。

A案 3～5年で期を区切って、最初の期のグループから役員を選出していく。

例として3年任期で考えますと、

今回の選出(2006～2008)は1期～3期、

次回の選出(2009～2011)は4期～6期、

その次の選出(2012～2014)は7期～9期、……という要領です

B案 A案を1期ずつスライドさせる方法と期のグループを4期あるいは5期にする方法の併用

A案だと

06年 07年 08年 09年 10年 11年

1, 2, 3 1, 2, 3 1, 2, 3 4, 5, 6 4, 5, 6 4, 5, 6 …

これを

1, 2, 3, 4 1, 2, 3, 4 2, 3, 4, 5 3, 4, 5, 6 4, 5, 6, 7 5, 6, 7, 8…

C案 皆様からのご意見

この場合、恐れ入りますが事前に9期中村までお知らせいただけますか。

幹事会の前に各位にご検討頂くべく回覧したいと思いますので。

規約上	分掌(案)	便宜上
会 長		
副会長 2名	副会長A 副会長B	
書 記 若干名		
会 計 若干名	収入支出依頼書の作成 (現金のやり取りは、学校) 本来は同窓会? 決算書の作成	
ホームページ委員会	ホームページ作成に関する諸事項	
35周年総会実行委員会	35周年総会の開催に関する諸事項	
名簿委員会	名簿発行に関し、各期幹事から提出名簿の取りまとめ	
	学校側との連絡調整() 学校行事への参加(×) (入学式、卒業式、学校運営協議会等) 幹事会開催通知、議案作成、議事録作成() 住所、アドレスの管理()	事務局

3. 決定・承認事項

(1) 名簿委員会の設置(前出)

(2) 名簿作成通信費補助

今回の名簿作成にあたり各期でそのとりまとめをすることとなったので、データの収集に必要な通信費封筒代等の補助として、金5万円を上限としてその実費を支給する。この場合には、その支出を証する書類が必要である。

その請求は、18年2月末日(厳守)までに9期中村まで報告があったものについては、3月開催予定の幹事会にて支出を証する書類と引き換えに支払いをする。

(3) 30期生以降(これから卒業する方)の名簿作成について

卒業時に同窓会への加入意思を確認し、住所・電話番号・メールアドレス等の連絡先を提出してもらう。

確認のための文書は同窓会事務局で作成し、学校側の許可を得て配布・回収を依頼する。

(4) 幹事の選任等

規約の改正にあたるので、内規として運用する。

幹事の任期は、学校年度にあわせ、4月1日から翌3月31日までの1年とする。ただし留任を妨げない。

幹事本人からの辞任を認めることとする。この場合には、辞任する幹事とその後任の幹事との連名でその旨を幹事会へ報告するものとする。この規定により選任された後任の幹事の任期は、前任者の任期の残存期間とする。

幹事会が必要と認めた場合には、各回卒業生の互選との規約にかかわらず、幹事会が幹事を指名することができる。ただし、指名された者の就任の承諾が必要である。この規定により選任された幹事の任期は、現に存する他の幹事の任期と同一とする。

(5) 同期会助成金支出の件(各金5万円)

4期:10月22日(土)新宿にて約120名参加予定

5期:11月23日(水)吉祥寺にて約120名参加予定

4. 次回日程・議題

平成18年3月25日か26日(3月最終の土曜日か日曜日)

母校において

- 議題
1. 役員改選
 2. 委員会報告(H.P、35周年、名簿)
 3. その他各期より報告
- 各期名簿の提出期限

次回幹事会終了後、懇親会を予定しています。詳細はおって連絡いたします。

皆様のご参加お待ちしております。

場所:未定 会費:未定(5千円以下)

本件幹事 6期栗原様 9期中村

35周年参考 8期生より

<その1>

- 1) 記念式典用のホームページの設置 HP 委員会に依頼
- 2) 開催の案内(日時、場所案、内容)を下記の手段を使って広める
 - ・幹事へのメール配信
 - ・幹事経由での一部卒業生へのメール配信(2,3次配信を期待)
 - ・"ゆびとま" <http://www.yubitoma.or.jp/>
 - ・"MeMeTown" <http://www.memetown.co.jp/>
 - ・あとは口コミに期待
- 3) 参加したい人、最終的な開催案内が欲しい人は、ホームページ上で仮参加登録、連絡先登録(メール)をしてもらう。
- 4) 事前登録者の人数に基づき、最終的な場所と予想人数を決定
- 5) 最終案内配信
 - ・上記に加え、事前登録者、市報調布などの地元メディアにて案内
 - ・気合の入った期は葉書や電話で案内
- 6) 参加申し込みはホームページ上で行い、参加者名簿をリアルタイムで公開!
 - ・メールやパソコンが無い人は幹事経由で登録
 - ・会場の人数変更可能日まで参加登録をしてもらって駆け込み参加を集う。
- 7) 当日はホームページで収集した名簿で入場確認。
 - ・各期から少なくとも1名窓口係りを出してもらい、本人確認する。

まず、1)から4)を最優先する。

- 1) 早急に作業開始
 - 遅くとも1年後完成(2006夏)
 - 完成後告知開始
 - 必要ならばHP委員会増員
- 2) HPの完成前後から始める。
- 3) & 4) 開催前1年半前(2007春)仮締切り
 - 場所の仮押さえ
- 4) & 6)
 - 開催1年前から半年前(2007秋から2008春)
 - 場所の予約確定
 - 場所によっては、会費確定?
- 5) 開催半年前から3ヶ月前(2008春から2008夏)
 - 最終人数の決定
- 7) 開催当日

<その2>

おほむらさき祭文化部門開催時 受付及び同窓会控え室に35周年告知及び呼びかけ、名簿発刊
 受 付 現役生の横に机を借りて同窓生来校時に呼びかけ。(出来れば印刷物手渡し)
 印刷物は35周年に限らず、幹事募集(?)及び同窓会に関すること
 もちろん35周年委員募集も可

同窓会控え室 同上

学校側との調整要? 校長・副校長・同窓会担当先生・生徒会(文化部門実行委員会?)

P T A

名簿等 8期生より

今後同窓会の活動をきちんと行なっていくという意志表示の意味でも、その会員を記した何らかの名簿は必要であると考えます。

ただ、卒業間もない人たちは細かい住所や電話番号が記載されたものの必要性は感じないと思いますし、個人の情報が載るのも嫌がると思います。

そこで、氏名と、現住所の都道府県程度(誰が今どの辺で活動しているのかぐらいが判る)の極簡単なものを作って提供するのはいかがでしょうか。

それに、1年間の幹事会の活動内容をプラスして、毎年春に配信し、同窓会活動をアピールするのが良いかと思います。(同窓会名簿というよりは、同窓会活動報告書に名簿が付いているというようなもの)

具体的に、どのように作成して、どのように管理運用配信していくのかなどは、まだはっきりとした案はありませんが(インターネットの活用など、今後話し合っていけば良いと思います)名簿提供の方向性としては、上記が良いのではと私は思います。

役員選任等 8期生より

前回の幹事会でもなかなか案が出なかったほど、皆敬遠している内容ですので、ある程度強制してやっていただくということが必要だと思います。

最初に考えたのは、1期のひとから1年間任期で選出していくという方法です。

この方法ですと、(来年から始めるとすると)48歳の年に役員順番がまわってくるようになります。

卒業間もないひとに、いきなり会長をやれといっても周りがほとんど目上の人でやりづらいと思いますし、あまり同窓会の必要性を感じていない時期でつらいと思います。

そこで、ある程度歳を重ね、仕事もひと段落し、昔が非常に懐かしく思うようになる年に、役員順番がまわるのが、一番良いと思います。

ただ、役員任期が1年になるという点や、ひとつの期から役員全員を選ぶという点などで、問題があります。

そこで、3~5年で期を区切って、最初の期のグループから役員を選出していくというのはいかがでしょうか。

例として3年任期で考えますと、

今回の選出(2006~2008)は1期~3期、

次回の選出(2009~2011)は4期~6期、

その次の選出(2012~2014)は7期~9期、……という要領です。

9期中村の付け加え

これに加えて、少しずつ期をずらすというのはいかがでしょうか。

例えば、

> 例として3年任期で考えますと、

> 今回の選出(2006~2008)は1期~3期、

> 次回の選出(2009~2011)は4期~6期、

> その次の選出(2012~2014)は7期~9期

これを言い換えると

06年	07年	08年	09年	10年	11年
1, 2, 3	1, 2, 3	1, 2, 3	4, 5, 6	4, 5, 6	4, 5, 6 …

こうなるのを

06	07	08	09	10	11
1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4	2, 3, 4, 5	3, 4, 5, 6	4, 5, 6, 7	5, 6, 7, 8 …

(期のバリエーションは、いくらでも可。というのは、途中幹事のいない期があるため)

このように、少しずつずらしていくと、経験が共有できるというか、順送りされるというか…

前例を踏襲するという意味ではなく、流れを踏まえて新しいことができるのではないかと…

1~4期生のダブリ等をどのように調整するかという問題は残りますが…